PART4 日本と第一次世界大戦

Chapter1　日本の中国進出

目標
日本が第一次世界大戦に参戦した名目は何か考えてみよう。
日本が第一次世界大戦に参戦した実情を理解しよう。

1　日本の第一次世界大戦参戦（1914年）

①参戦の理由→元老井上馨いわく「大正新時代の天佑」

A　名目〔　　　　　　　　　　〕を結ぶイギリスの援護

※日露協約・日仏協約もあった。

B　実情　**大陸における権益拡大**を図る

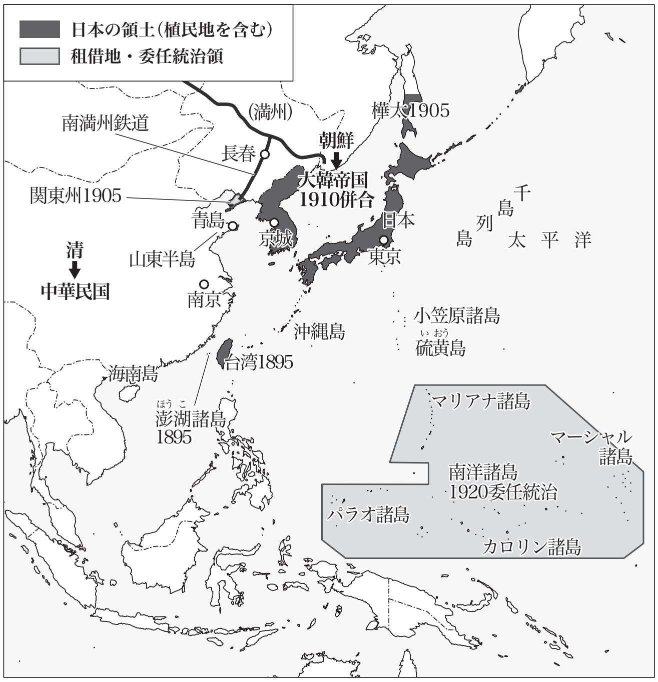
※各国との貿易拡大により「〔　　　　　〕**景気**」となる。

②参戦と経過

1914年８月，〔　　　　　　　〕に宣戦布告（第二次**大隈重信内閣**，加藤高明外相）。

A　陸軍〔　　　　　〕**半島**の膠州湾（中心都市＝**青島**）を占領

B　海軍　赤道以北の**ドイツ領南洋諸島**の一部（**サイパン・パラオ**など）を占領



ヴェルサイユ体制下の日本の領域

2　二十一カ条の要求と列強との調整

①目的　〔　　　　　　　〕政権の中国における権益拡大

袁世凱

②内容　1915年，５号〔　　　　〕**カ条**を突き付ける

第１号　**山東省のドイツ権益接収の承認**

第２号　**旅順・大連・南満州鉄道**・安奉鉄道の**租借期限を 99年延長**

南満州・東部内蒙古の権益の承認

第３号　**漢冶萍公司の日中共同経営**

第４号　中国沿岸の他国への不割譲

第５号　中華民国政府への**日本人**〔　　　　　〕採用

警察の日中合同，福建省の開発について，日本との協議を必要とすることなど

※あくまでも希望・秘密条項だが**非難が強く大部分を削除**。

③影響　中国は受け入れた５月９日を**国恥記念日**とする

④調整　〔　　　　　　　　　〕とは**石井・ランシング協定**（1917年）を締結

※ロシアは革命が起こりソヴィエト政権が日露協約を破棄。

3　西原借款（1917〜18年）

①目的　北方軍閥の〔　　　　　　　〕政権を援助し中国での支配権伸長を図る

②経過　〔　　　　　　　　　〕首相が私設秘書**西原亀三**を通じ無担保で巨額の**借款**を与える

③結果　中国を 1917年に第一次世界大戦へ参戦させるが段祺瑞が３年後に失脚

④影響　列強や中国民衆から内戦激化の原因を作ったとして激しい非難を浴びる

段祺瑞

まとめ　日本が第一次世界大戦に参戦した名目は，日英同盟だった。
日本が第一次世界大戦に参戦した実情は，大陸への進出だった。

Chapter2　日本のシベリア進出

目標
日露戦争後の日本が外交の２本柱としていた条約をおさえよう。
日本がシベリアからなかなか撤兵しなかった理由を考えてみよう。

1　日本から見たロシアの動き

①〔　　　　　　　　〕→日露戦争（1904～05年）後に接近

A　第一次日露協約（1907年）

日本が南満洲・大韓帝国〔韓国〕，ロシアが北満洲・外蒙古を勢力範囲とする。

B　第二次日露協約（1910年）

自国の満洲における特殊利益擁護のための自由行動を相互に承認，第三国＝アメリカの満洲進出を阻止するための共同行動を約束。

C　第三次日露協約（1912年）

前年の辛亥革命を契機に浮上した外蒙古独立問題に対応し，内蒙古における両国利益範囲の東（日本）西（ロシア）分割を約束。

D　**第四次日露協約**（1916年）

条約範囲を全中国に拡大，第三国＝アメリカ・イギリスの中国支配を防ぎ，極東での相互の特殊利益擁護を約束。

②〔　　　　　　〕**革命**（1917年）

ソヴィエト政権が誕生し，旧ロシア帝国が締結した秘密協定をすべて公表・破棄。

2 シベリア出兵〔対ソ干渉戦争〕（1918～22年）

①目的

A　ロシア革命で誕生した社会主義のソヴィエト政権への干渉

B　東部シベリア・北満州への勢力拡大

②出兵（1918年）

チェコスロバキアを創設しようとするチェコの武装集団や旧ロシア国民救出を名目に，〔　　　　　　　　〕**内閣**がアメリカ・イギリス・フランスらとの**共同出兵**を決定。

※日本ではこれに伴い米価が高騰し，米騒動が起きる。

③経過

1920年には列国は**シベリア出兵〔対ソ干渉戦争〕**から手を引くが日本は駐留を続け，抗日パルチザンに襲われる**尼港〔ニコライエフスク〕事件**が起こるなど，形勢は悪化。

※同年，日本は〔　　　　　　〕を占領し，列国に領土的野心を疑われ非難が高まった。

④撤兵（1922年）

多大な戦費と兵力７万 2000 人をつぎ込み，約 3000 人の死者と２万人以上の負傷者を出し，〔　　　　　　　　　　〕**会議終了後**に加藤友三郎内閣が撤兵を完了。

⑤影響

第一次世界大戦後の国際平和体制の下で，列国の日本への警戒心が強まる。

1922年当時のソ連

まとめ

日露戦争後の日本外交の２本柱は日英同盟と日露協約であった。

日本は多大な戦費や兵力をつぎ込んでいたので，何の成果もあげないままシベリアから撤兵することをためらっていた。

第７講 PART4 確認問題

1 1914年，ドイツに宣戦布告して第一次世界大戦に参戦した内閣はどれか。

① 第一次山本権兵衛内閣　② 第二次大隈重信内閣
③ 第二次西園寺公望内閣　④ 第三次桂太郎内閣

2 第一次世界大戦で陸軍が占領した山東半島の中心都市はどこか。

① 長春　② 旅順
③ 大連　④ 青島

3 日本は二十一カ条の要求を中華民国の何政権に対して出したか。

① 蔣介石　② 袁世凱
③ 段祺瑞　④ 孫文

4 二十一カ条の要求の内容に**あてはまらない**のはどれか。

① 日本軍の中国への駐留　② 漢冶萍公司の日中共同経営
③ 南満州鉄道の租借期限延長　④ 山東省のドイツ権益接収の承認

5 1917年に日本とアメリカが結んだ協定を何というか。

① フセイン・マクマホン協定　② サイクス・ピコ協定
③ 石井・ランシング協定　④ 桂・タフト協定

6 私設秘書西原亀三を派遣し，中国に無担保で巨額の借款を与えた首相はだれか。

① 寺内正毅 ② 原敬
③ 大隈重信 ④ 高橋是清

7 アメリカ・イギリスの中国支配を防ぎ，極東での日露共同戦線結成を約束した同盟はどれか。

① 第一次日露協約 ② 第二次日露協約
③ 第三次日露協約 ④ 第四次日露協約

8 シベリア出兵を行った首相はだれか。

① 高橋是清 ② 原敬
③ 大隈重信 ④ 寺内正毅

9 シベリアの尼港で，日本軍がロシアの抗日パルチザンに襲撃された事件はどれか。

① ノモンハン事件 ② ニコライエフスク事件
③ サライェヴォ事件 ④ アムリットサール事件

10 1920年に日本が占領したのはどこか。

① 北樺太 ② 南樺太
③ 旅順 ④ 大連

第7講　PART4　確認問題　解答

1 解答：②

第二次大隈重信内閣（1914年4月～16年10月）は，加藤高明外相の主導により，日英同盟を理由として第一次世界大戦に参戦した。

①：軍部大臣現役武官制を緩和した内閣(1913年2月～14年4月)。
③：緊縮財政を進めた内閣（1911年8月～12年12月)。
④：第一次護憲運動が起こり，60日ほどで崩壊した内閣（1912年12月～13年2月)。

2 解答：④

青島は，中国におけるドイツの根拠地であった。

①：東北部に位置する都市。
②：遼東半島に位置する都市。
③：遼東半島に位置する都市。

3 解答：②

袁世凱は，辛亥革命では皇帝を退位させ，孫文から代わった臨時大総統から正式な大総統となり，独裁権を握った。

①：中国国民党の孫文の後継指導者で，のちに中華民国政府を台湾に移した。
③：中国の北方軍閥の首領で，袁世凱後の中国の実権を握った。
④：辛亥革命を成功させ，中華民国の初代臨時大総統となった。

4 解答：①

義和団事件の際に結ばれた北京議定書の内容。

②：第３号の内容。
③：第２号の内容。
④：第１号の内容。

5 **解答：③**　アメリカが日本の山東権益を承認するとともに，両国が中国の領土保全・門戸開放などを宣言した協定。

①：1915 年にイギリスがアラブ側と結んだ秘密協定。
②：1916 年にイギリス，フランス，ロシア間で結ばれた，オスマン帝国領分割に関する秘密協定。
④：1905 年に日本とアメリカが結んだ，韓国とフィリピンの支配権を相互に認めた秘密協定。

6 **解答：①**　寺内正毅首相のもとで西原借款を行い，中国での支配権伸長を図ろうとした。

②：寺内正毅内閣の総辞職後，首相となった。
③：第一次世界大戦に参戦した首相。
④：原敬首相暗殺後，首相となった。

7 **解答：④**　1916 年に結ばれ，条約範囲が全中国に拡大された。

①：1907 年に結ばれ，日本とロシアの勢力範囲や利益を取り決めた。
②：アメリカの満州進出を阻止するための共同行動を約束した。
③：内蒙古における日本とロシアの両国利益範囲を約束。

8 **解答：④**　寺内正毅内閣は，シベリア出兵を契機に起こった米騒動により総辞職した。

①：原敬首相暗殺後，首相となった。
②：寺内正毅内閣の総辞職後，首相となった。
③：寺内正毅首相の前の首相。

9 解答：②　尼港のことをニコライエフスクという。

①：1939 年, モンゴル国境で日本の関東軍とソ連軍が衝突した事件。
③：1914年, オーストリア帝位継承者夫妻がボスニアの州都サライェヴォでセルビア人に殺害された事件。
④：1919 年，インドでローラット法に反対した民衆をイギリス軍が虐殺した事件。

10 解答：①　日本は北樺太を占領したことで，列国に領土的野心を疑われ非難が高まった。

②：日露戦争の講和条約であるポーツマス条約で日本が獲得した。
③：二十一カ条の要求で日本が租借権延長を要求した。
④：二十一カ条の要求で日本が租借権延長を要求した。